

311

No. 311

[430]

宇 和 海 の 海 況

宇 田 道 隆

日本自然保護協会調査報告 第13号
足摺国定公園宇和海海中公園調査報告 (1965) 別刷

宇和海の海況

宇 田 道 隆

(東京水産大学)

筆者担当の海洋に関する事項については、調査期間中28測点において観測した。(詳細は本文末の付図を参照)。以下、要点を記述したい。

(1) 海水は、調査当時岸で波が大きいためと水温が平年に比して低かったせいか、濁っているとされていたが、実測した結果は13~27mの透明度で、内海水に比しはるかに清澄で、黒潮の影響を南の方、沖の方など強くうけていることを示した。とくに横島周辺(一の砦を含む)~鹿島西南~黒磐方面、当木島方面、水島~姫島~蒲菜島~柏島方面はすばらしく清澄で、透明度は18~26mに及び、多彩な海中景観が透視できた。フォレル水色は3~5で、当方面はおそらく20m以上の清澄が通常と思われる。

(2) 水温は表面26~30°C、海底(数m~数十m)で23~28°Cを実測、暖流の影響の強い暖海であることを示した。県水産試験場の観測では、盛冬最低13~14°Cになることはあっても、10°C以下にはならず、季節風強き冬季を除いてはほとんど周年、海上観光と水中のリクリエーション等に適するようである。

(3) 塩分などについては、今回観測せず。

(4) 流れの観測によって、潮汐流の上げしお、下げしおにより最強1.5ノット内外に及ぶことを確かめたが、岸近くや礁ハエ近くでは1ノット程度のものが観測され、とくに潜水遊泳などの危険注意の場所はない。水の交代が良いので、海産生物の繁殖にも好適であり、内海の汚染水の及ぶ影響も主に九州側の北部から南下し拡散する関係上、まず心配ないと思われる。

(5) 沖合外洋水の影響は宇和海では(宿毛湾においても同様)80~100mの等深線の入りこんだところから2流をなして入るものと認められた。

(6) 波浪は台風期(とくに南西風で最強)と季節風期(12月~3月の偏西風)の強いのを除いて、概しておだやかで、春夏秋は海上に遊ぶのに好適で、冬も鹿島・当木島・柏島方面の近岸ならば問題なく、かえって椿など花咲く暖地方として宣伝されると思われる。海蝕洞には雄大なものが多くみられ、生物学的にもイセエビその他が豊富で良い観測のものと思われるが、その成因は前記の大風による沿岸波浪の波蝕と思われる。また南西面の外側は夏季ウネリで砕ける波溝景観は見事といえよう。なお深浦方面の海岸にある blow hole は斜横に吹き出す珍しいもので、その機構の解説は

興味を引くと思われる。

(7) 造礁サンゴおよび亜熱帯・熱帯生物が彩る当地方の海底に、海中公園として観賞する施設と相まって、価値大いなるものと思われる。潮差は2~3m内外に達するので、干潮時は特に観察に便利だろう。

以上の現地調査ならびにその他の資料から判断して筆者専門の海洋関係から見れば、当海域沿岸は海中公園として好適な条件を具備していると判定される。

注意事項として、次の点を付記したい。

(1) 現状を破壊する汚濁等が人工的におこされないこと。観光客や土地の人があき缶・ビン・ビニール袋・紙片などの屑を投棄しないよう厳重にとりしめること。汚水処理も含む。

(2) 造礁サンゴ、生物などを乱獲するのを禁止すること。とくに指定を予想して思惑採集を予防すべきこと。

(3) 磯を荒廃せしむる漁業を禁止すること。遊漁も水中鉄砲など禁止のこと。

(4) 磯釣りの弊害甚だしきときなどは取りしめること。漁業関係は現地と打合せをして取り決めておくこと。

(5) 台風・突風などによる災害防止については、外海に面する方では特に現地で注意警戒するよう予め措置すること。

(6) 現状変更を監視するための委員会、調査会を常置すること。

海洋関係調査資料

1. 黒磐付近(1964年8月9日、8:45~9:05調査)
気温28.0°C 水深7m
水温0m:27.8°C、底(7m):27.6°C
透明度:底まで見える(7m以上) 清澄
風1 波浪0~1
海底は岩、岩塊
2. 鹿島ノ穴(同9:20~9:50調査)
海蝕洞は高さ20m位
水温:0m:27.2°C、底(13m):27.0°C
透明度:底まで見える(13m以上)、清澄
台風余波でウネリ2~3m
3. 横島東(海蝕洞沖)(同10:30調査)
気温:29.9°C

水 温：0 m:26.0°C、底(7 m):25.7°C
透明度：底まで見える(7 m以上)、清澄
や、ウネりあり、風浪なし
海産物は多彩多様、アカバ、カサゴ等の釣場。
少し沖に出て(同10:53調査)

気 温：27.9°C
水 温：0 m:25.8°C、底(22 m 深):24.8°C

透明度：18.5 m

同、横島東(同11:17~20観測)

南 流：0.4~0.5ノット(秒速20~27 cm)

水 温：0 m:26.0°C、底(13 m):25.6°C

同じく横島東にて(11:55観測)

水 深：20.5 m

水 温：0 m:26.3°C、底:25.4°C

透明度：18 m(雪量3)

4. 打留 罟(同、13:04観測)

水 深：10 m、岩石底

水 温：0 m:26.8°C、底:26.5°C

気 温：27.3°C

透明度：9 m以上(雪量2)

5. 一の罟付近(13:33観測)

南流下げ潮速い。0.9ノット=秒速45 cm。

水 温：0 m:26.8°C、底(5.5 m):26.8°C

透明度：4.5 m以上、清澄。

クエ・イサギ・カワハギなど多し。

6. 一の罟

天幕して岩上に釣をする人を見る。

水 深：20 m

水 温：0 m-26.6°C、底-25.8°C

透明度：18 m(水色4)

7. 横島西側(14:14観測)

南 流：0.94ノット=秒速47 cm。

岩 礁(干満1.5 m)

断崖にテングサ多し

西風、波浪当り強し外海性強し。

(以上第1日調査の要約)

大体外海性が強い。水色3~5程度。透明度18 m内外。この付近では、調査時は濁っている方で(3・4・5月最もにごり、冬に最も澄む)ほとんど常時は20 m以上。海中の華麗な魚類、底生生物を観察するには一の罟あたり最も好適、横島付近も良い。満干の潮流が主体で卓越し、海図によれば最強1.5ノット。今回の実測では一の罟付近で0.9ノット。さほど強くないから危険度は少ない。潮通りが良い。水温は26~28°C位であって、遊泳、潜水作業などに好適であった。波浪ウネりは外海に南面する横島南端方面では雄大な砕波景観を呈し、北・西内海側はおだやか。海蝕

洞が面白い景観をみせる。

8. 三畑田島付近「イナグラバエ」(8月10日、855~観測)

アカハタ・カサゴ・イサキ等の釣場。

水 深：8.5 m、海底は造礁サンゴ見え、小魚多し。

水 温：0 m:26.4°C、底:25.8°C

水 色：4

透明度：10 m以上

海面潮目にごみ、よごれ集連。

南東流、秒速3 cm

同地点近く(南沖洞穴前)

水 深：21 mで底見えぬ

透明度：16 m

南東流：秒速7 m

9. 三畑田島(同9:32観測)

海鷗3羽を見る

水 深：15 m

水 温：0 m:26.4°C、底:26.0°C

透明度：15 m以上、底まで見える

波：0~1

少し沖の深みへ出る

水 深：19 m

水 温：0 m:26.3°C、底:25.9°C

透明度：18.3 m

Aqualung diver 円卓造礁サンゴ標本を引き

上げる。

流れなし

塩子島に向う、10:20赤潮をみる。

海上好風

10. 塩子島南(同10:37観測)

水 深：8 m 気温:27.1°C(快晴)

水 温：0 m:25.8°C、底:25.8°C

透明度：8 m以上

南東流強し、さざ波をたてている。

秒 速：0.4ノット=秒速40 cm

黒罟・塩子島間、塩子島南付近(同10:50観測)

水 深：15:5 m

水 深：0 m-26.2°C、底-25.2°C

透明度：14 m、水色5位

南東流0.8ノット=秒速40 cm

濁り強し。11:10プランクトンの潮目。

11. 小猿島東、イワシ罟(同11:50)

水 深：16 m

気 温：26.0°C

水 温：0 m:26.4°C、底:25.2°C

透明度：13.55 m 水色5

南 流：0.2ノット=秒速10 cm

青瑠璃黄褐黒色小魚群瀬についている。
弧礁頂上浪折れ白く砕けわき返る(小猿島洞
穴をのぞく)

12. エビの洞、由良岬(同13:20)

水 温: 0 m: 25.8°C、底: 24.5°C

透明度: 14 m

サザエ・アワビの宝庫。

低潮時(14:30) 洞穴付近はウミトサカ・イ
ボヤギ・イソバナ等色とりどりで、紫・黄等
の生物。

13. 一の岩付近(同14:35)

水 深: 22 m

水 温: 0 m: 26.7°C、底: 24.0°C

透明度: 18 m、水色4位。

北々東流0.4ノット=秒速20cm

水中のぞき眼鏡で、円卓造礁サンゴ、色とり
どりの魚みえる。

キンヤギ・トグヤギ・ウミカラマツ・ネジレ
ヤギ等採集される。

アクアラングダイバーの話によると、クエ1
1 m大のカンダイ・コショウダイ・イシダイ
・シマアジ・イサキなど群なして何千と見え、
魚の水族館の如し。1平方mに10尾位も
見える由。

14. 長岩付近(同15:40)

水 深: 6 m

水 温: 0 m: 26.0°C、底: 25.8°C

透明度: 6 m以上

流向不定、秒速10cm以下

べた風、ウネリあり。

ほぼ同所で水深14mの深み

水 温: 底で25.8°C

透明度: 13.2 m

潜水者、アカテズルモズル・キリントサカを
採集。13の $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{2}$ 量。クエ・カンダイ(コブ
ダイ)・イシダイ(一貫大)ブダイ(2~3
kg)数尾泳ぐ由。

15. スズキ岩付近(8月11日、11:02)

水 深 18.5 m

水 温: 0 m: 28.2°C、底: 26.4°C

透明度: 18 m、水色4

北流0.6~0.9ノット=秒速32~45cm、

11:37、21 mの深みに移動

水 温: 0 m: 27.8°C、底: 23.8°C

透明度: 20.5 m

潮たるみ、潮色よし。

潜水者ら、海中はモヤモヤ現われ透視困難の
由。水温躍層のためと思われる。付近にてテ
ングサ・イソバナ・ヤギ等等採集。

16. 海蝕洞穴付近

水 温: 0 m: 26.8°C、底: 23.6°C、次回
は25.5°C。水温分布にむらがあるためか、
大差あり。

透明度: 12.5 m、ほとんど底まで見える。

Blow hole においては、波が打ち寄せるや噴
潮孔より斜に白く噴出する。奇観なり。

17. Blow hole 付近のサンゴ礁(同12:35)

水 温: 0 m: 29.6°C、底(10.5 m): 27.8°C

透明度: 11 m以上。

北 流: 0.2ノット。

水 深: 16 mの場所に移動し

透明度: 16 m

(地点17以南は急に高温水となり、以北との
間に大差が見られた)

18. 当木島西(同14:16)

水 深: 13 m

水 温: 0 m: 29.1°C、底: 28.8°C。

透明度: 13 m以上。

西風、波浪る。流れ東流0.1~0.2ノット。

少し沖の深みで

水 深: 19 m

水 温: 0 m: 29.11°C、底: 27.6°C

透明度: 17.5 m。

波 : 3~4。東流0.24ノット=
秒速12cm。

19. 当木島東南(同14:50)

水 深: 19 m

水 温: 0 m: 29.0°C、底: 28°C

透明度: 19 m

流れ0.1ノット

海水清澄。美しい寄浜見え、浜木綿咲く。

20. 天嶮鼻北方

水 深: 14 m

水 温: 0 m: 29.8°C、底: 28.5°C

透明度: 13 m

波 浪: 2。北流0.2ノット。

21. 黒崎鼻付近(同16:55)

水 深: 10 m

水 温: 0 m: 29.9°C、底: 29.8°C。

透明度: 9 m(意外に濁っている)

波 浪: 4

沖へ50 m位移動

水 深: 22 m

水 温: 0 m: 29.8°C、底: 26.4°C。

透明度: 17 m。

(以上、第3日要約)

当木島付近は海水清澄で、とくに興味あって好適。